

2023 年度

授業概要

科目名	作業療法特論			授業の種類	演習	講師名			
授業回数	15 回	時間数	30 時間	1 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	3 年	前期
【授業の目的・ねらい】 臨床現場の実践を学ぶ。									
【実務者経験】 ・総合病院にて7年の勤務経験。自宅訪問にて生活動作や家屋評価などを実施してきた。その後4年間は介護老人保健施設に勤務し、通所サービス利用者の福祉用具選定やフォローアップにも関わった。 ・身体障害分野の病院に勤務し、多種の疾患に対応する。その後、現在の会社Withで福祉用具や住宅改修の相談や援助を実施している。また、介護介助教室などで他職種の指導なども行っている。									
【授業全体の内容の概要】 各臨床現場の状況や作業療法士の実践について講義や演習を行う。									
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 幅広い作業療法士の実践現場を知り、臨床実習に役立たせることができる。									
回数	講義内容							準備物(教材)	
1	臨床実習に役立つリーズニングについて（利他性）							資料他	
2	訪問リハビリテーション							資料他	
3	国試を迎える前に作業療法の魅力を再発見 認知症のある方の生きる世界を知る							資料他	
4	徒手療法							資料他	
5	徒手療法							資料他	
6	通所リハビリテーションサービス内の作業療法							資料他	
7	最新治療・作業療法							資料他	
8	最新治療・作業療法							資料他	
9	福祉用具							資料他	
10	福祉用具							資料他	
11	介護老人保健施設での作業療法							資料他	
12	介護老人保健施設での作業療法							資料他	
13	急性期作業療法							資料他	
14	精神科作業療法							資料他	
15	精神科作業療法							資料他	
定期筆記試験									
【使用教科書・教材・参考書】 各講師講義資料を当日配布します。									
【準備学習・時間外学習】 各担当講師の内容や分野や領域について事前に学習しておくこと。									
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は定期筆記試験を100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。									